



いちかわ社協 地域福祉・ボランティアセンターだより

てるぼ通信

編集・発行

社会福祉法人 市川市社会福祉協議会
地域福祉・ボランティアセンター

所在地：市川市東大和田1-2-10

連絡先：047(320)4002



踏み出そう！ つながろう！



本号では、地域福祉・ボランティアセンターが開催した各種プログラムに参加されたことでボランティアへの一歩を踏み出した方々や、交流会の様子などをご紹介します！

生活支援サポーター養成研修・ボランティアスクール

ボランティアへの一歩を踏み出されました！

市川市社会福祉協議会と市川市が共催で「生活支援サポーター 養成研修・ボランティアスクール」を、行徳と八幡会場でそれぞれ4回にわたり開催しました。「介護保険制度の現状とボランティア活動の重要性」、「高齢者の心と体の変化について」、認知症や知的障がい理解をテーマにした医師や専門家などによる講演や、視覚障がいのある当事者の方の体験談、そして高齢者疑似体験や車イス体験などの演習も行われました。



本プログラムに参加された後、多数の方々が新たにボランティア活動を開始されました。ご経験者でもいろいろ学んだり体験できる機会ですので、次回の研修にぜひご参加ください！ どなたでも大歓迎です！

踏み出そう！



小・中学生ボランティアスクール

小・中学生も踏み出しました！



小・中学生ボランティアスクールを開催しました。定員をはるかに超える52名の小・中学生が、高齢者施設でお手伝いをしたり、お兄さんお姉さんとして保育園の子どもたちと一緒に遊んだりするボランティア活動に参加してくださいました！



活動後の報告会では、「職員の方がそれぞれのおばあちゃん達に寄り添い、コミュニケーションを大事にしている、すごい！と思った。」
「保育園で先生をするのが夢だったので、早く夢がかなって嬉しかった。」
「自己紹介をすると、〇〇くん！と子どもたちが呼んでくれて嬉しかった。」
など、たくさんの発見があったことや感じたことなどを発表していました。ワクワクドキドキしながら参加して下さった小・中学生の皆さんにとって、とても素敵な経験になったようです。



これをきっかけに、身近なところでもプチボランティアしてみませんか!?

『ボランティア交流会』を開催！



市川市社会福祉協議会にボランティア登録をされている方々を対象に、全日警ホールと行徳会場の2カ所で交流会を開催しました。

みんなで楽しく脳トレ運動や合唱をしてリラックスした後、自己紹介タイム、そして自由に相談や質問をする時間が設けられました。

一番盛り上がったのは「交流タイム」でした。参加者の皆さんが自由に歩き回って、自己紹介の時に気になった方に直接話しかけて、より詳しいお話を聞いたり、情報交換したりと、まさに交流ができた貴重な時間でした。



難しい...☹️



参加者の皆さんからは、

「同じような活動をしている方々とつながることができた！」
「ボランティアの現場で遭遇した状況について相談できたり、皆さんのご意見をお聞きできて良かった」
「経験者の体験談を聞いて意欲がわいた」「来て良かった、ぜひ次回も参加したい！」
など、たくさんの嬉しいお言葉をいただきました。

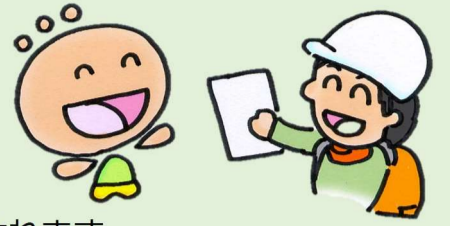
皆さんの感想やご意見をもとに、来年はさらに有意義な会にしていきたいと思っておりますので、たくさんの皆さまのご参加をお待ちしております！

ボランティアとして
なにかしたい!

大規模災害時 ... 私たちにできること

台風、地震、水害などによる大規模な被害が生じた際、ボランティアの方々が各地から集まって、がれきの撤去作業などを行っている光景をテレビなどでご覧になられていると思います。

「私もお手伝いに行ってみようかな」と思い立ったら、実際にどのような手続きや準備が必要なのでしょうか?



1 災害ボランティア募集の確認

- ボランティアの受付窓口となる「**災害ボランティアセンター**」は通常、発災後3日～7日を目処に設置されます。被害の規模によっては設置されない(募集しない)場合もありますのでご注意ください。
- 当該地域の社会福祉協議会(または自治体)のホームページなどから、**ボランティア募集開始の日時や場所、募集要項**などを確認します。
- 個人ボランティアの募集は一定期間で締め切りとなる場合がありますので、出発前に必ずご確認ください!

2 ボランティア保険に加入

- 現地への往復時も含めて、万一の怪我や事故に備えておくことが強く推奨されています。
- 居住地の社協、またはWEB(特例で開設)から加入しましょう。
- 加入手続きは15分程度で、市川市社会福祉協議会(東大和田および行徳)窓口で行うことができます。
- 災害ボランティアの場合は当日から保険適用となります。



3 事前準備

- 交通手段や宿泊先などをご自身で手配します。
- 飲み物や食事は現地に行くまでは入手困難な場合がありますので、ご自身で十分に計画・準備しましょう。
- 防寒・防水服、着替え、軍手、長靴、手ぬぐいなど、活動に必要なものを準備して行ってください。



※災害ボランティアセンターには様々なニーズが寄せられます。ご自身が無理なくできる範囲でご活動ください。

こんなボランティア
活動もあるよ!

ご存知ですか? ヘアドネーション

髪を失った子どもたちを支援する
ボランティアです

病気や事故などで髪を失った18歳以下の子どもたちに、寄付された髪の毛で作った医療用ウィッグを無償で提供する活動です。

やってみよう!と思ったら...

- ① **まず、髪の毛を伸ばします。提供する髪の毛の長さは31cm以上。**
- ② **髪を切るサロンを探して予約します。**

髪の毛の長さは決まっているの?

いつものサロンで切りたいなあ

方法1. 行きつけのサロンにヘアドネーション用にカットしてもらえるか聞いてみましょう。

方法2. 賛同サロンで、行けそうなお店を探しましょう。

ヘアドネーション用カットには規定があります。賛同サロン以外のお店を利用する場合は、カット方法などが各サイトで説明されているのでご参照ください。

※市川市内にも賛同サロンがあります。下記3つの団体のホームページから検索できます。

① 特定非営利活動法人 JHD&C



② 特定非営利活動法人 HERO



③ 株式会社グローウイング



つな髪プロジェクト

- ③ **髪を切ります。**
- ④ **髪を団体に送ります。** JHD&Cには個人で発送、HEROはサロンからの発送も受け付けます。賛同サロンが発送をしてくれるか確認しましょう。

※髪の規定や発送方法に変更がないか、最新情報は各団体のHPまで。

お問い合わせ先 市川市社会福祉協議会 ※お気軽にお問い合わせください

[地域福祉・ボランティアセンター]
住所: 〒272-0026 市川市東大和田 1-2-10
電話: 047 (320) 4002
開所時間: 月～金 8:40～17:40
※土日祝祭日、年末年始はお休み
Eメール: vc@fukusi.jp

[行徳ボランティアセンター]
住所: 〒272-0121 市川市末広 1-1-31 (行徳支所 2階)
電話: 047 (356) 0007
開所時間: 月～金 9:00～17:00
※土日祝祭日、年末年始はお休み



ボランティアセンター
ホームページはこちらから